

2023年3月期 第3四半期決算 投資家向け説明会

2023年2月7日

ソフトバンクグループ株式会社



免責事項

本資料は、ソフトバンクグループ株式会社（以下「SBG」）及びその子会社（Arm Limitedを含み、以下SBGと併せて「当社」）並びに関連会社（以下当社と併せて「当社グループ」）に関する関連情報を提供するものであり、すべての法域において、いかなる証券の購入又は応募の申込みを含む、いかなる投資勧誘を構成又は形成するものではありません。

本資料には、当社グループの推定、予測、目標及び計画を含む当社グループの将来の事業、将来のポジション及び業績に関する記述など当社グループの将来の見通しに関する記述、見解又は意見が含まれています。将来の見通しに関する記述には、特段の限定を付すことなく、「目標とする」、「計画する」、「確信する」、「希望する」、「継続する」、「期待する」、「目的とする」、「意図する」、「だろう」、「かもしれない」、「であるべきである」、「したであろう」、「できた」、「予想する」、「推定する」、「企図する」若しくは類似する内容の用語若しくは言い回し又はその否定形などが含まれています。本資料に記載されている将来の見通しに関する記述は、当社グループが本資料の日付現在において入手可能な情報を踏まえた、当社グループの現在の前提及び見解に基づくものです。これら将来の見通しに関する記述は、当社グループのメンバー又はその経営陣による将来の業績を保証するものではなく、当社グループのビジネスモデルの成功、当社グループの資金調達力及びその資金調達条件の影響、SBGの重要な経営陣に関するリスク、当社グループの投資活動に関する又はこれに影響を与えるリスク、SBファンド（下記で別途定義）並びにその投資、投資家及び投資先に関するリスク、ソフトバンク株式会社及びその事業の成功に関するリスク、法令・規制・制度などに関するリスク、知的財産権に関するリスク、並びに訴訟を含むこれらに限られない既知及び未知のリスク、不確実性その他要因を含み、これらの要因により、実際の当社グループの実績、業績、成果又は財務状態は、将来の見通しに関する記述において明示又は黙示されている将来の実績、業績、成果又は財務状態と著しく異なる可能性があります。当社グループの実績、業績、成果又は財務状態に影響を与える可能性のあるこれら及びその他の要因については、SBGのホームページの「事業等のリスク」（https://group.softbank/ir/investors/management_policy/risk_factor）をご参照下さい。当社グループ及びその経営陣は、これら将来の見通しに関する記述に明示されている予想が正しいものであることを保証するものではなく、実績、業績、成果又は財務状態は、予想と著しく異なる可能性があります。本資料を閲覧する者は、将来の見通しに関する記述に過度に依拠してはなりません。当社は、本資料に記載される将来の見通しに関する記述その他当社が行う将来の見通しに関する記述を更新する義務を負いません。過去の業績は、将来の実績を示すものではなく、本資料に記載される当社グループの実績は、当社グループの将来の実績の予測若しくは予想の指標となるものではなく、又はこれを推定するものでもありません。本資料に記載されている当社グループ以外の企業（SBファンドの投資先を含みますが、これに限られません。）に関わる情報は、公開情報等から引用したものであり、当社は、情報の正確性又は完全性について保証するものではありません。

本資料には、Arm Limitedに関する記述が含まれています。これらの記述は、SBGの株主への情報提供のみを目的としたものであり、Arm Limitedが発行するあらゆる有価証券の販売又は購入の勧誘を目的としたものではありませんし、そのように解釈されるべきではありません。

商標について

本資料に記載されている企業、製品及びサービスの名称は、各企業の商標又は登録商標です。

重要なお知らせ—SBGの普通株式の取引、スポンサーなしADR（米国預託証券）に関する免責事項

SBGの普通株式の売買を希望する場合には、当該普通株式が上場され、主に取引が行われている東京証券取引所において売買を行うことを推奨します。SBGの開示は、スポンサーなしADR（以下「ADR」）の取引の促進を意図するものではなく、ADRの取引判断を行う際にこれに依拠すべきではありません。SBGは、SBGの普通株式に関するスポンサーなしADRプログラムの設立又はそれに基づき発行されるADRの発行若しくは取引について、過去及び現在において、参加、支援、推奨その他同意を行ったことはありません。SBGは、ADR保有者、銀行又は預託機関に対して、(i)SBGが1934年米国証券取引所法（以下「証券取引所法」）で定めるところの報告義務を負うこと、又は、(ii)SBGのホームページに、SBGが証券取引所法ルール12g3-2(b)に従って証券取引所法に基づくSBGの普通株式の登録の免除を維持するために必要な全ての情報が継続的に掲載されることを表明するものではなく、また、当該者又は機関は、そのように信じてはなりません。適用ある法が許容する最大限の範囲において、SBG及び当社グループは、SBGの普通株式を表象するスポンサーなしADRに関連して、ADR保有者、銀行、預託機関その他企業又は個人に対するいかなる義務又は責任を否認します。

上記の免責事項は、ソフトバンク株式会社やZホールディングス株式会社などの、スポンサーなしADRプログラムの対象であるか又は将来対象となる可能性のある当社グループの証券に同様に適用されます。

本資料に記載されるファンド情報に関するお知らせ

本資料は、情報提供を目的として提供されるものであり、法律上、税務上、投資上、会計上その他の助言又はSB Global Advisers Limited（以下「SBGA」）、SB Investment Advisers (UK) Limited（以下「SBIA」）及びそれらの関係会社を含むSBGの子会社（以下併せて「SBファンド運用会社」）により運用されるいずれかのファンド（文脈に応じて、パラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて「SBファンド」）のリミテッド・パートナーシップ持分又は同等の有限責任持分の販売の申込み又は申込みの勧誘を行うものではなく、また、いかなる方法でもそのように依拠してはなりません。疑義を避けるために付言すると、SBファンドは、他のファンド同様、SBIAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド1」）、SBGAとその関係会社によって運用されているSoftBank Vision Fund II-2 L.P.（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ビジョン・ファンド2」）及びSBGAとその関係会社によって運用されているSBLA Latin America Fund LLC（文脈に応じて、あらゆるパラレル・ファンド、フィーダー・ファンド、共同投資ビークル又はオルタナティブ投資ビークルと併せて以下「ラテンアメリカ・ファンド」）を含みます。

SBファンド（ビジョン・ファンド1及びビジョン・ファンド2並びにラテンアメリカ・ファンドを含む）、SBファンド運用会社、SBファンド運用会社により運用される後続又は将来のファンド、SBG又はそれぞれの関係会社のいずれも、本資料に記載されている情報の正確性又は完全性について、明示又は黙示であるにもかかわらずこれを表明又は保証するものではなく、また、本資料に記載されているパフォーマンスに関する情報はSBファンドその他本資料に言及される企業の過去若しくは将来のパフォーマンス又はSBファンド運用会社により運用される後続ファンド、将来組成されるファンドの将来のパフォーマンスについての確約又は表明として依拠してはなりません。

SBファンドその他本資料に言及される企業のパフォーマンスに関する情報は、背景説明のみを目的として記載されるものであり、関連するSBファンド、本資料に言及されるその他のファンド又はSBファンド運用会社により将来運用されるファンドの将来のパフォーマンスを示すものとして考慮されるべきではありません。SBファンドの特定の投資対象に関する情報への言及は、それに含まれる範囲において、関連するSBファンド運用会社の投資プロセス及び運用方針を説明することのみを目的として述べられたものであり、特定の投資対象又は証券の推奨として解釈してはなりません。SBファンドのパフォーマンスは各個別の投資においてそれぞれ異なる可能性があり、個別に言及した取引のパフォーマンスは、必ずしも全ての適用される従前の投資のパフォーマンスを示唆するものではありません。本資料において記載及び説明される特定の投資は、関連するSBファンド運用会社が行う全ての投資を示すものではなく、本資料において記載及び検討される投資が利益を生んだ又は将来利益を生むと仮定すべきではありません。

本資料に記載されるSBファンドのパフォーマンスは、ポートフォリオ投資の未実現の評価額に基づくものです。未実現の投資評価額は、関連するSBファンド運用会社がそれぞれ特定の投資に関する状況に基づき合理的とみなす前提及び要因（例えば、評価日現在における類似の会社の平均株価収益率その他勘案事項等を含みます。）に基づくものです。しかしながら、未実現の投資評価額が本資料に記載されている金額又は本資料に記載されているリターンを算定するために用いられる金額で実現されるという保証はありません。また、かかる実現に関連する取引費用が未知であるため、当該取引費用は、かかる算定に含まれません。未実現の見積りは、常に化する多くの不確定要素の影響を受けます。関連するSBファンドの未実現の投資に対する実際の実現リターンは、いくつか要因がある中で特に、将来の運用実績、処分時の資産価格及び市況、関連する取引費用並びに売却の時期及び方法によって決まるものであり、これらの要因は全て、関連するSBファンド運用会社の評価の根拠となった前提及び状況と異なる可能性があります。

過去のパフォーマンスは、必ずしも将来の実績を示すものではありません。SBファンド又はSBファンド運用会社により運用される将来のファンドのパフォーマンスは、本資料に示されるパフォーマンス情報よりも大幅に低くなる可能性があります。各SBファンド又は関連するSBファンド運用会社により運用されるいずれか将来のファンドが、本資料に示される実績と同等の実績を達成するという保証はありません。

本資料に記載される第三者のロゴ及びベンダー情報は、説明目的のためにのみ提供されるものです。かかるロゴの記載は、かかる企業又は事業との提携又はその承認を示唆するものではありません。SBファンド運用会社、SBファンドのポートフォリオ会社、SBファンド運用会社により運用される将来のファンドの将来のポートフォリオ会社、又はSBGが、本資料に記載されるロゴを有する企業又は事業のいずれかと今後業務を行うという保証はありません。

SBGA及びSBIAは、ビジョン・ファンド1、ビジョン・ファンド2及びラテンアメリカファンドの運用に関して、相互にSBGからそれぞれ別個独立した業務プロセスを採っています。SBGA又はSBIAによって運用されるSBファンドは、それぞれSBGA単独又はSBIA単独で運用されています。

本資料における為替換算レート

(円)

期中平均レート	FY21/Q1	FY21/Q2	FY21/Q3	FY21/Q4	FY22/Q1	FY22/Q2	FY22/Q3	FY22/Q4
1米ドル	110.00	110.47	113.60	117.10	129.04	138.68	141.16	
期末レート	2021/6月末	2021/9月末	2021/12月末	2022/3月末	2022/6月末	2022/9月末	2022/12月末	2023/3月末
1米ドル				122.39			132.70	

略称について

本資料では、以下の略称は以下の意味を指す。なお、企業名から「株式会社」や「(株)」を省略している箇所がある。

略称	意味 (傘下子会社がある場合、それを含む)
SBG	ソフトバンクグループ(株) (単体)
当社	ソフトバンクグループ(株)および子会社
SBKK	ソフトバンク(株)
SB Northstar	SB Northstar LP
SVF1 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド1	SoftBank Vision Fund L.P. および代替の投資ビークル
SVF2 または ソフトバンク・ビジョン・ファンド2	SoftBank Vision Fund II-2 L.P.
LatAmファンド または ラテンアメリカ・ファンド	SBLA Latin America Fund LLC
SVF	SVF1、SVF2およびLatAmファンド
SBIA	SB Investment Advisers (UK) Limited
SBGA	SB Global Advisers Limited
SBGC	SoftBank Group Capital Limited
Tモバイル	スプリントと合併後のT-Mobile US, Inc.
ドイツテレコム	Deutsche Telekom AG
アーム	Arm Limited
アリババ	Alibaba Group Holding Limited

その他

本資料において端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。

財務編

“SBG単体”の財務指標は、別段記載のない限り、連結グループから独立採算子会社を除いた数値を示します。独立採算子会社は、SBKK（ZホールディングスおよびPayPayをはじめとする子会社を含む）、SVF1、SVF2、LatAmファンド、アーム等です。

FY22Q3総括

守りの財務運営を継続。潤沢な手元流動性を維持

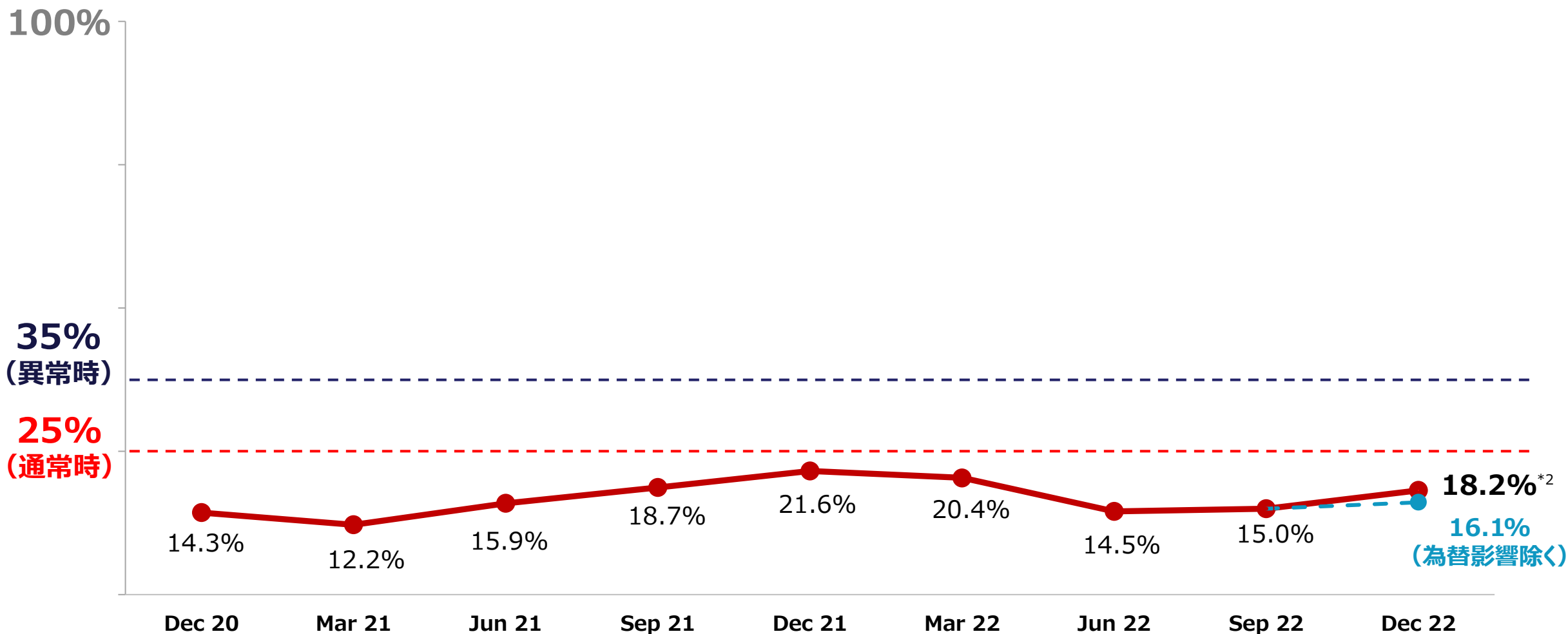
<p>NAV・LTV</p>	<p>NAV 13.9兆円 Q2比-2.9兆円（うち、為替影響-1.5兆円） LTV 18.2% Q2比+3.2%（うち、為替影響+2.1%） 手元流動性 3.8兆円^{*1} Q2比-0.5兆円</p>
<p>財務活動</p>	<p>資金化および負債削減を継続</p> <ul style="list-style-type: none"> - 資金化：アセットバック・ファイナンス +\$6.1B - 調達：国内リテール債発行 +3,850億円 - 返済：国内リテール債償還 -3,370億円 外債ハイブリッド・シニアのバイバック -\$2.3B 株式先渡売買契約の現物決済 -\$6.9B（-9,748億円相当）（アリババ）
<p>株主還元</p>	<p>1.4兆円の自社株買いを完了</p> <ul style="list-style-type: none"> - 2021年11月決議（取得枠：1兆円）：2022年10月17日全額取得完了 - 2022年8月決議（取得枠：4,000億円）：2022年11月10日全額取得完了

*1 現金及び現金同等物＋流動資産に含まれる短期投資＋コミットメントライン未使用枠。2022年12月末のコミットメントライン未使用枠は6,460億円相当。SBG単体ベース（SB Northstarを除く）

LTVの推移*1

財務規律の範囲内でコントロール

アセットバック・ファイナンス除く



*1 各四半期末時点の数値を記載

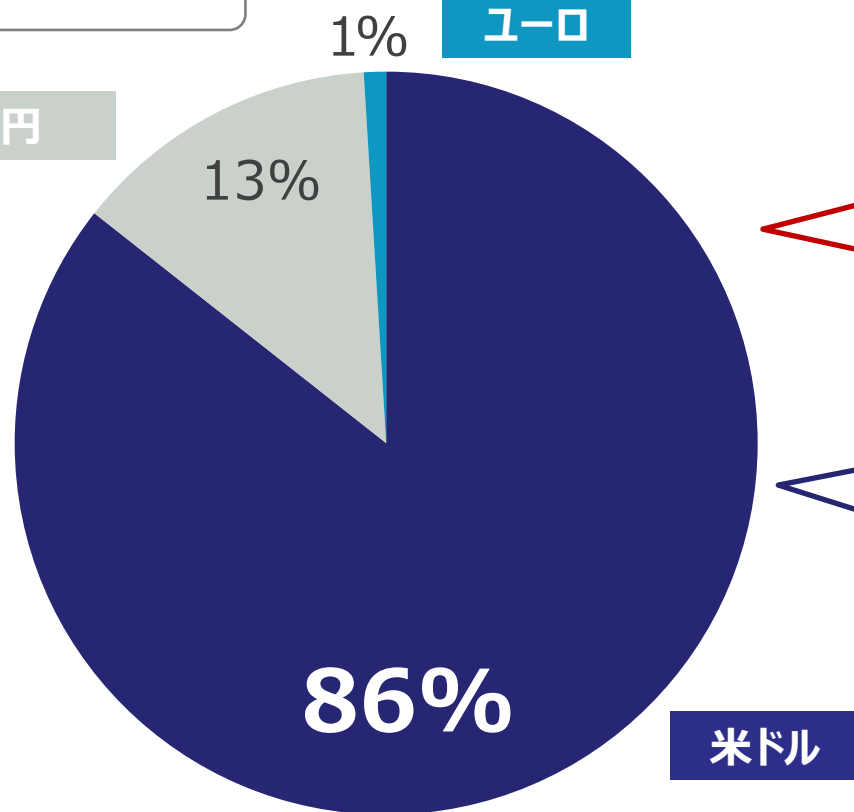
*2 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

為替レートの変動による影響

保有株式価値に占める米ドルの割合は約9割。資金フローの大半は米ドル建て

保有株式価値*1の通貨割合

アセットバック・ファイナンス除く



総額：
16.9兆円

9月末~12月末為替影響(8%ドル安)
NAV : -1.5兆円
LTV : +2.1%

投資及び資金化は
大半が米ドル建て

(注) 2022年12月末時点

*1 保有株式価値の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値」を参照

FY22Q3の主な財務活動

保守的な財務運営を継続。資金化および社債のリファイナンスにも対応

社債	外債のバイバック（10月） （うち、ハイブリッド外債 \$750M）	-\$2.3B相当	(-3,197億円)
	国内リテールシニア債の償還（12月）	-\$2.4B相当	(-3,370億円)
	国内リテールシニア債の発行（12月）	+\$2.7B相当	(+3,850億円)
アセットを活用した 資金調達等	アリババ株式		
	フォワード取引	+\$6.1B	(+8,572億円)
	株式先渡売買契約の現物決済 (現金支出なし)	-\$6.9B	(-9,748億円)

(注) FY22Q3の平均レート等により円換算

手元流動性

社債償還2年分を大幅に超える潤沢な手元流動性を維持

手元流動性

3.8兆円*1

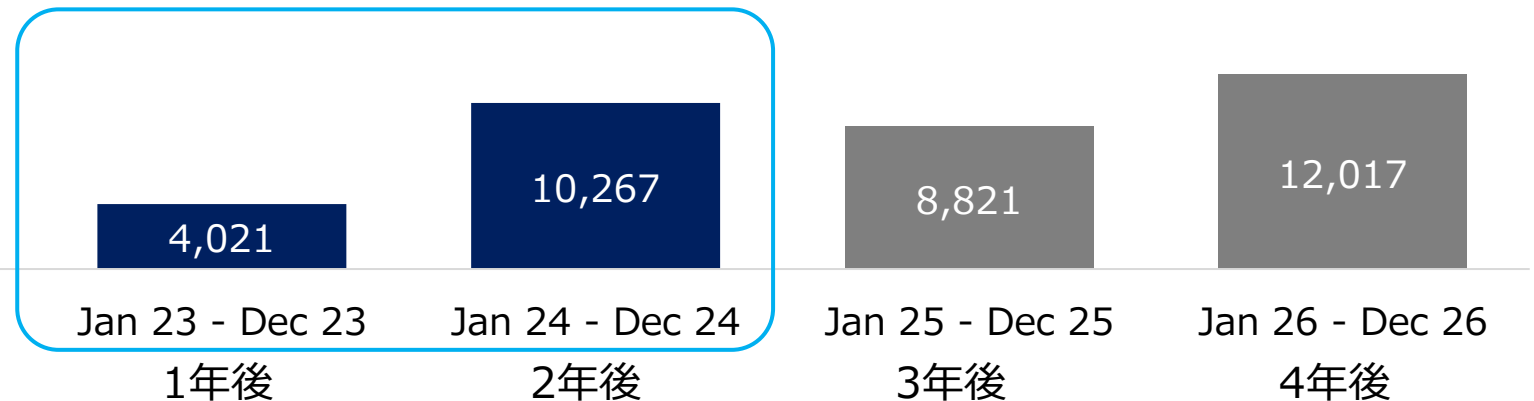


コミットメントライン未使用枠*2

社債償還スケジュール

(億円)

今後2年間の社債償還 (1.4兆円)



*1 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資 + コミットメントライン未使用枠。SBG単体ベース (SB Northstarを除く)

*2 2022年12月末時点のコミットメントライン総額6,460億円相当は全額未使用

国内リテールシニア債の発行

2022年12月にシニア債のリファイナンスを実施。引き続き、幅広い個人投資家に販売

第19回 福岡ソフトバンクホークスbond

発行額	3,850億円 (償還額：3,370億円)
投資家	主に個人投資家
利率	2.84%
年限	7年

個人投資家販売件数

約**9.4万件**^{*1}

景品

お父さん応援隊長
フェイスタオル
(今治タオル^{*2})



*1 販売証券会社からのヒアリングをもとに当社集計

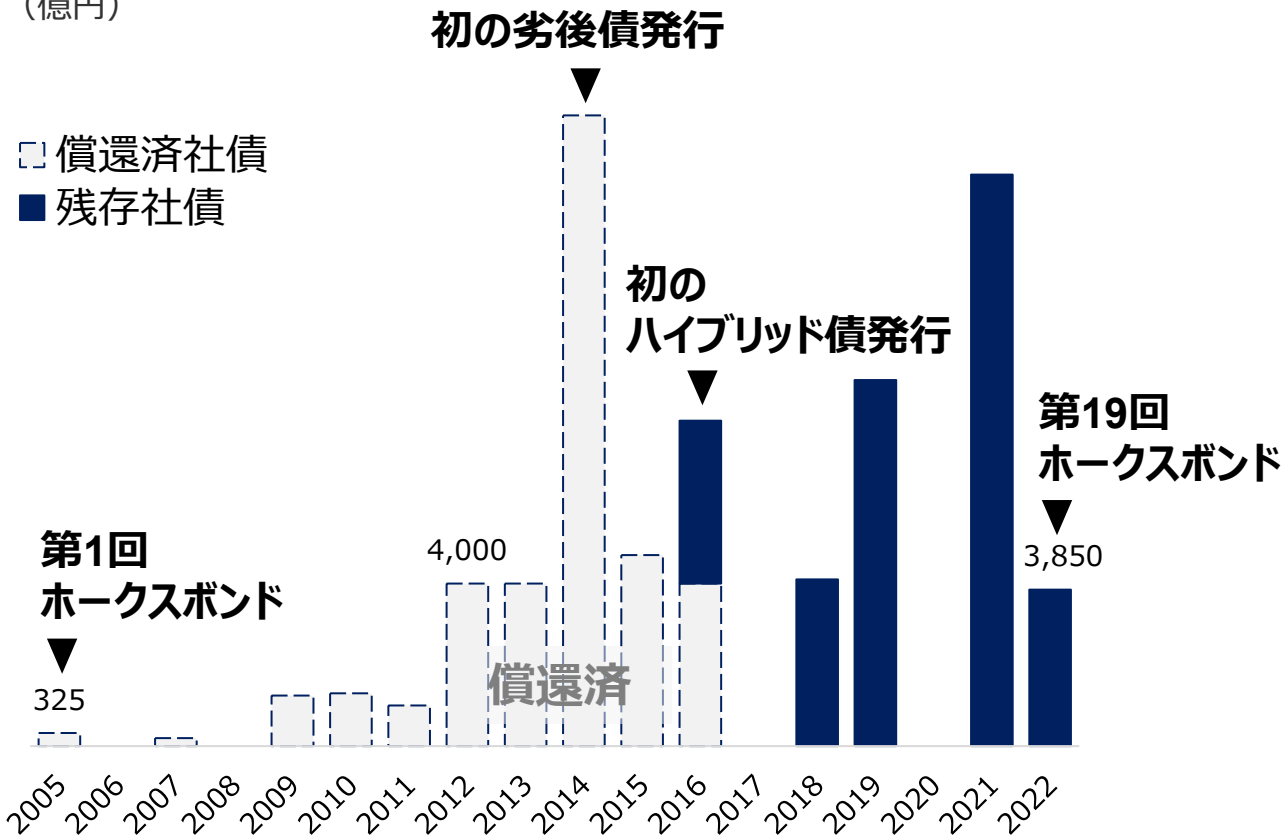
*2 「今治タオル」は今治タオル工業組合の登録商標

リテール債市場における当社の取り組み

多様な商品を継続提供し、国内リテール債市場を開拓・拡大

当社リテール債 発行額推移（年度別）

(億円)



累計発行額*1	7.1兆円
うち償還済	3.6兆円
既存保有者数*2	約51万人
のべ販売投資家数*3	約152万件

「貯蓄から投資へ」
を牽引

*1 2005年以降に発行したリテール債

*2 既存保有者数はSBG社債保有口座のべ数の合算。販売証券会社からのヒアリングをもとに当社集計（2022年1月時点）

*3 2013年度3月以降に発行したリテール債の個人投資家販売件数の合計（販売証券会社からのヒアリングによる）

国内リテール債の市場規模

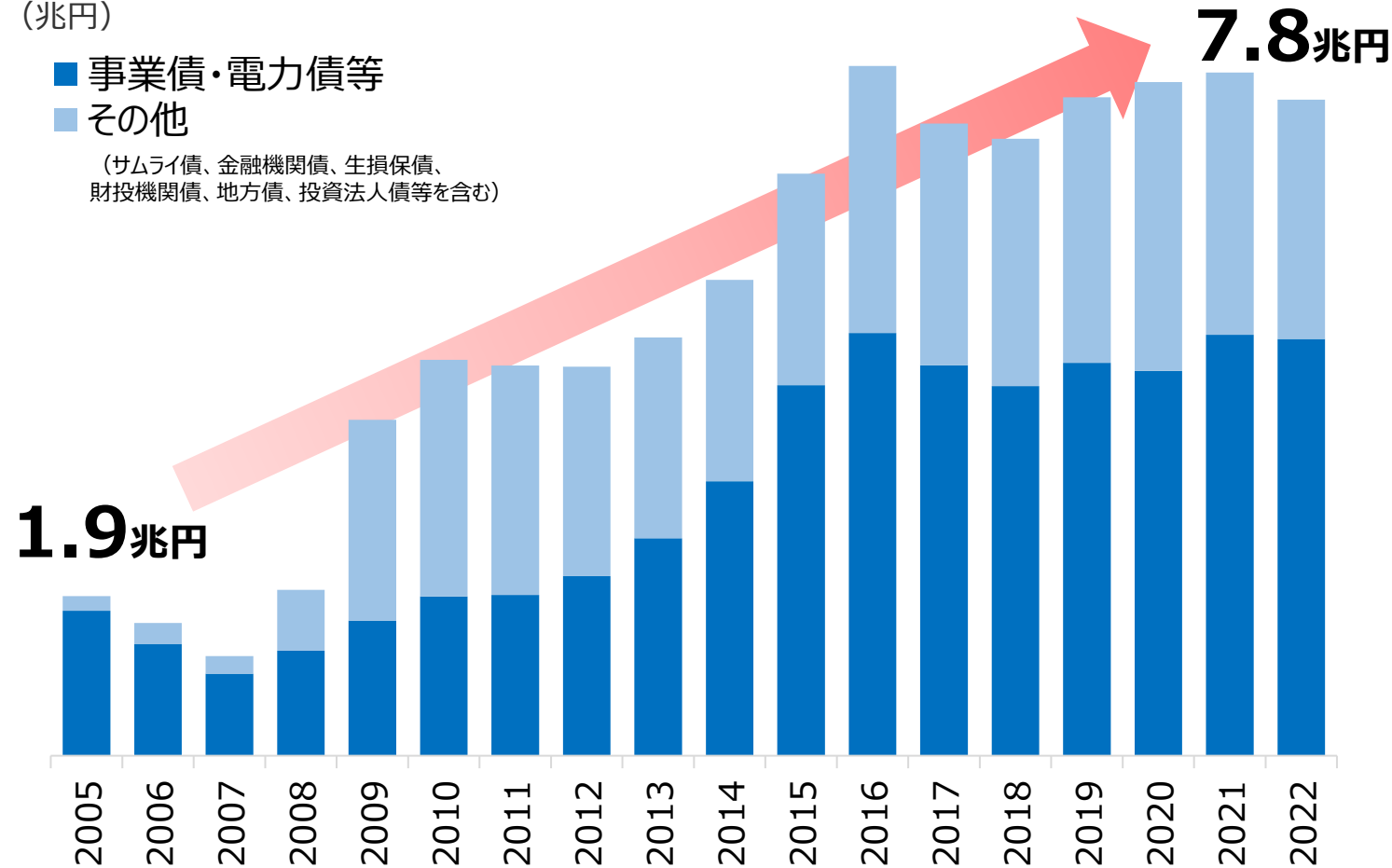
リテール債市場が着実に拡大

国内リテール債(個人向け国債除く)の残高推移*1

(兆円)

- 事業債・電力債等
- その他

(サムライ債、金融機関債、生損保債、
財投機関債、地方債、投資法人債等を含む)



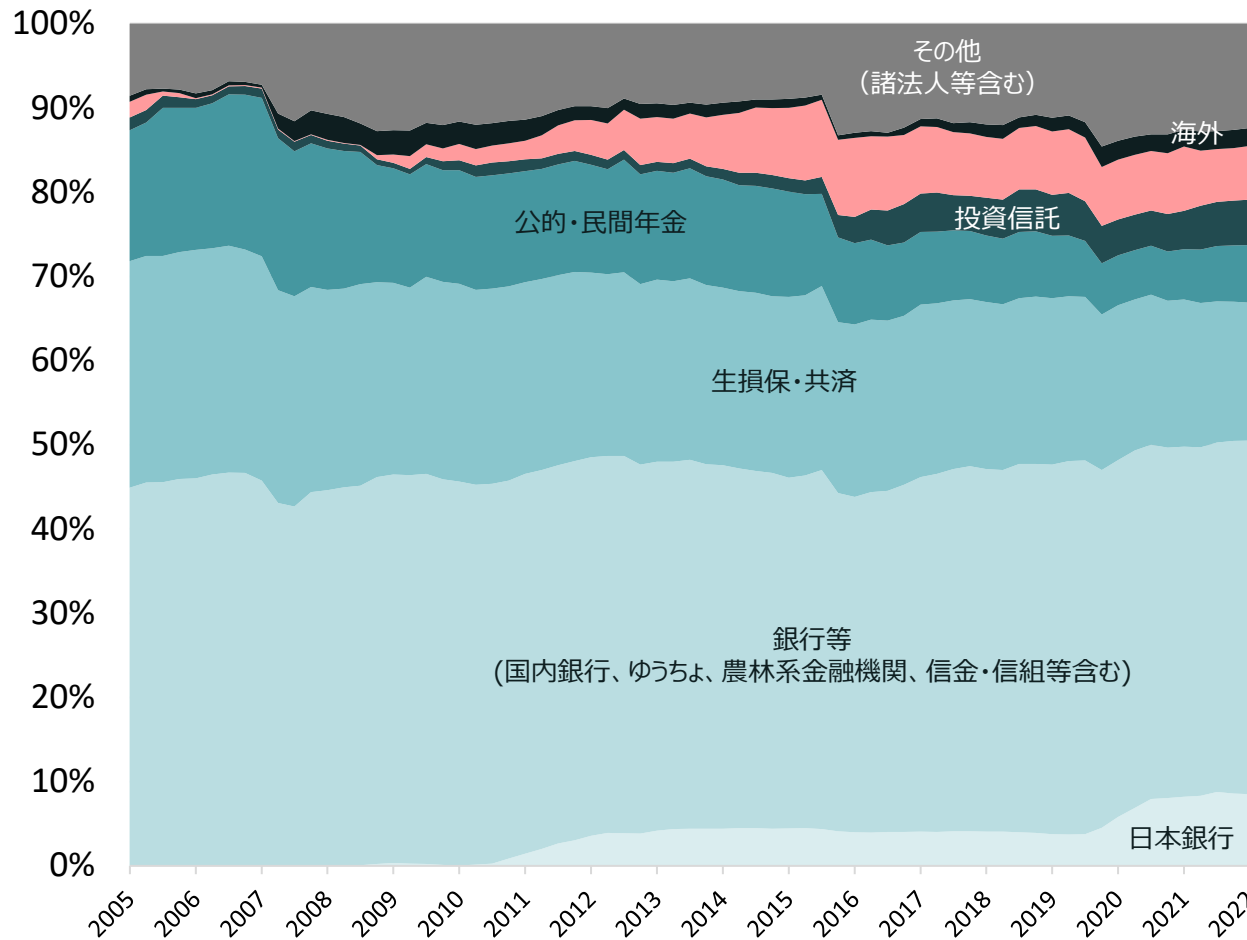
リテール債残高
4倍超

*1 Capital Eyeを含むベンダー情報をもとに当社集計。各年度9月時点

個人投資家による事業債の保有比率

個人投資家のリテール債投資は拡大

事業債の投資家別保有比率（2005年～）*1



個人投資家 6.4%

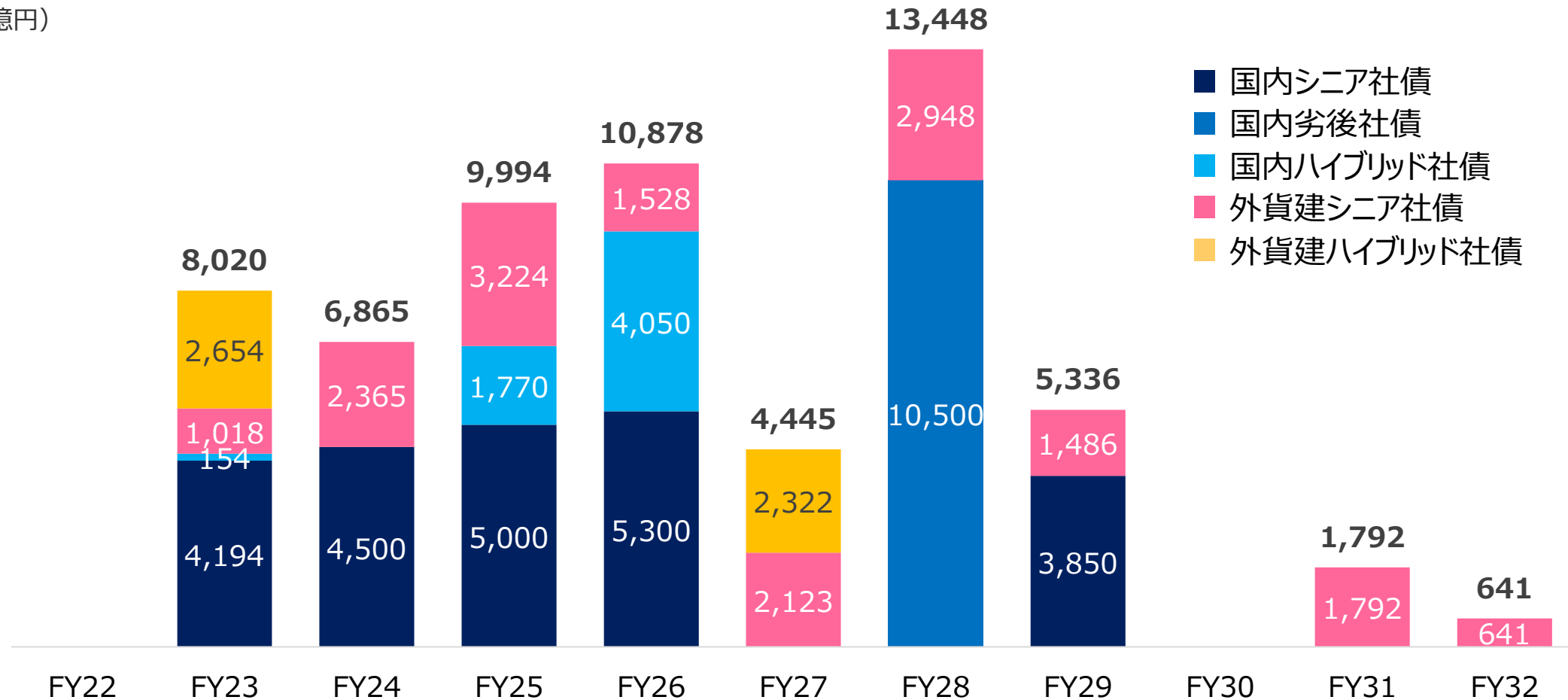
個人投資家比率は
3倍超に上昇
(2005年9月:1.8%対比)

*1 日本銀行 資金循環統計より当社集計。2005年9月から2022年9月。「家計」の区分を個人投資家として読み替え。

社債償還スケジュール

手元流動性および市場環境を考慮した起債運営を実施

(億円)



(注)

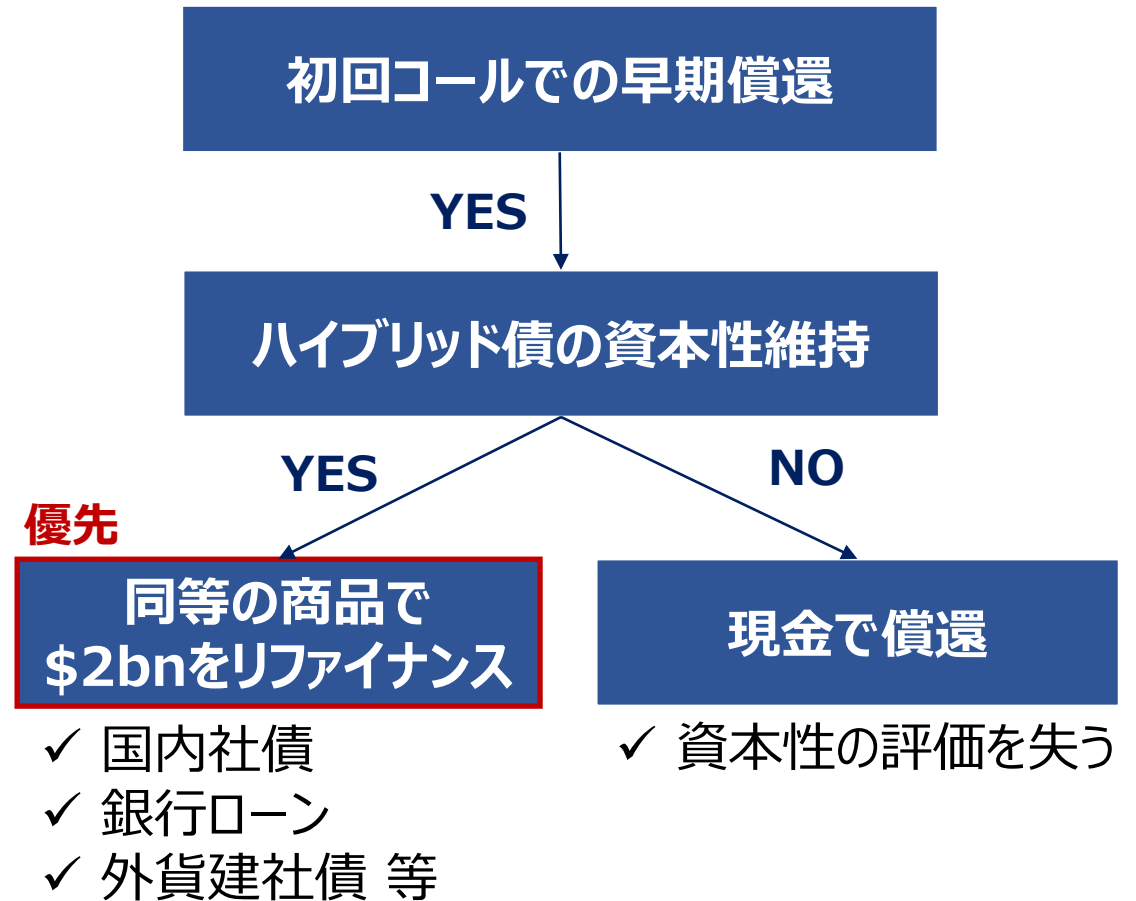
- 2022年12月末時点発行残高
- ハイブリッド社債は、すべて初回コール日に早期償還するケース
- 外貨建社債は、スワップを締結しているものはスワップレートにて換算、それ以外は1ドル=132.70円、1ユーロ=141.47円にて換算

米ドル建てハイブリッド債初回コールの対応について

リファイナンス対象ハイブリッド債

初回コール日	2023/7/19
発行残高	\$2.0B
利率	6.000%
満期	永久ノンコール6年
格付上の資本性	50% (S&P/JCR)

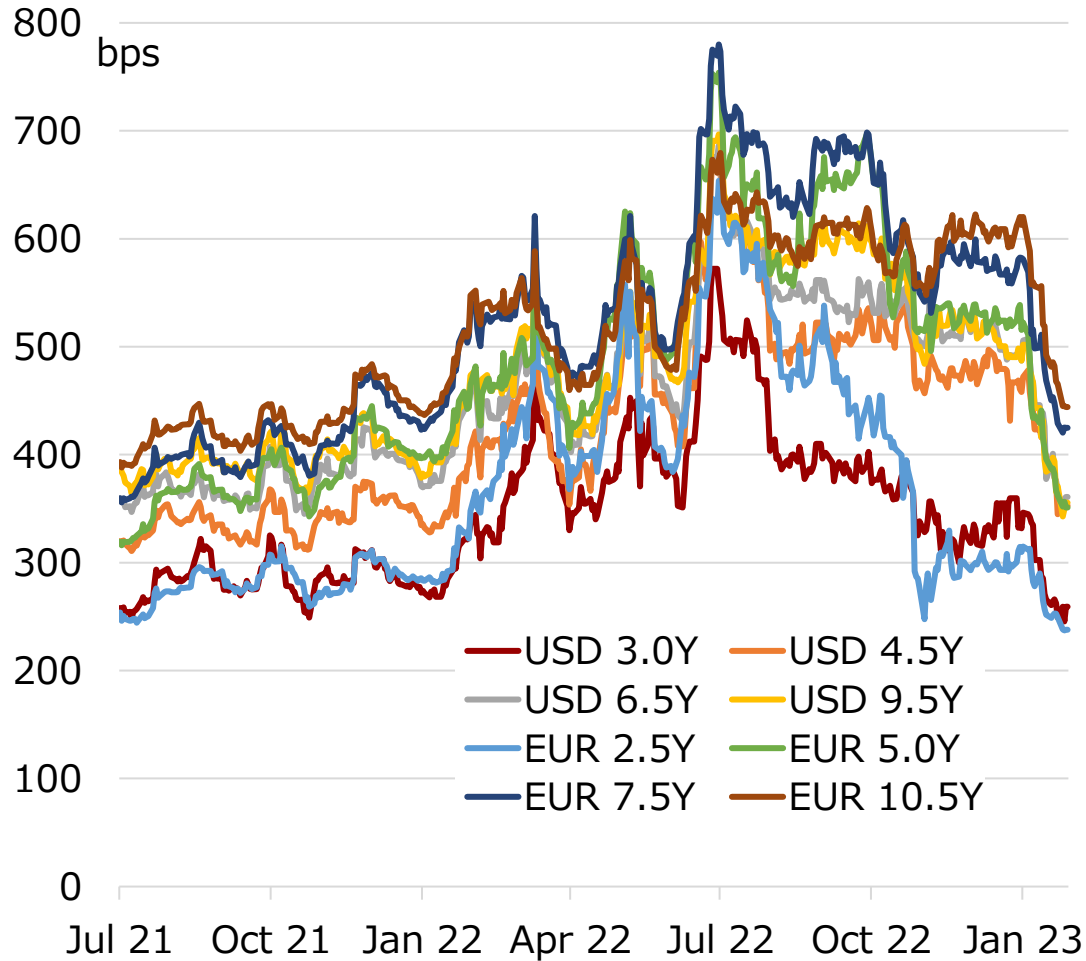
リファイナンスの考え方



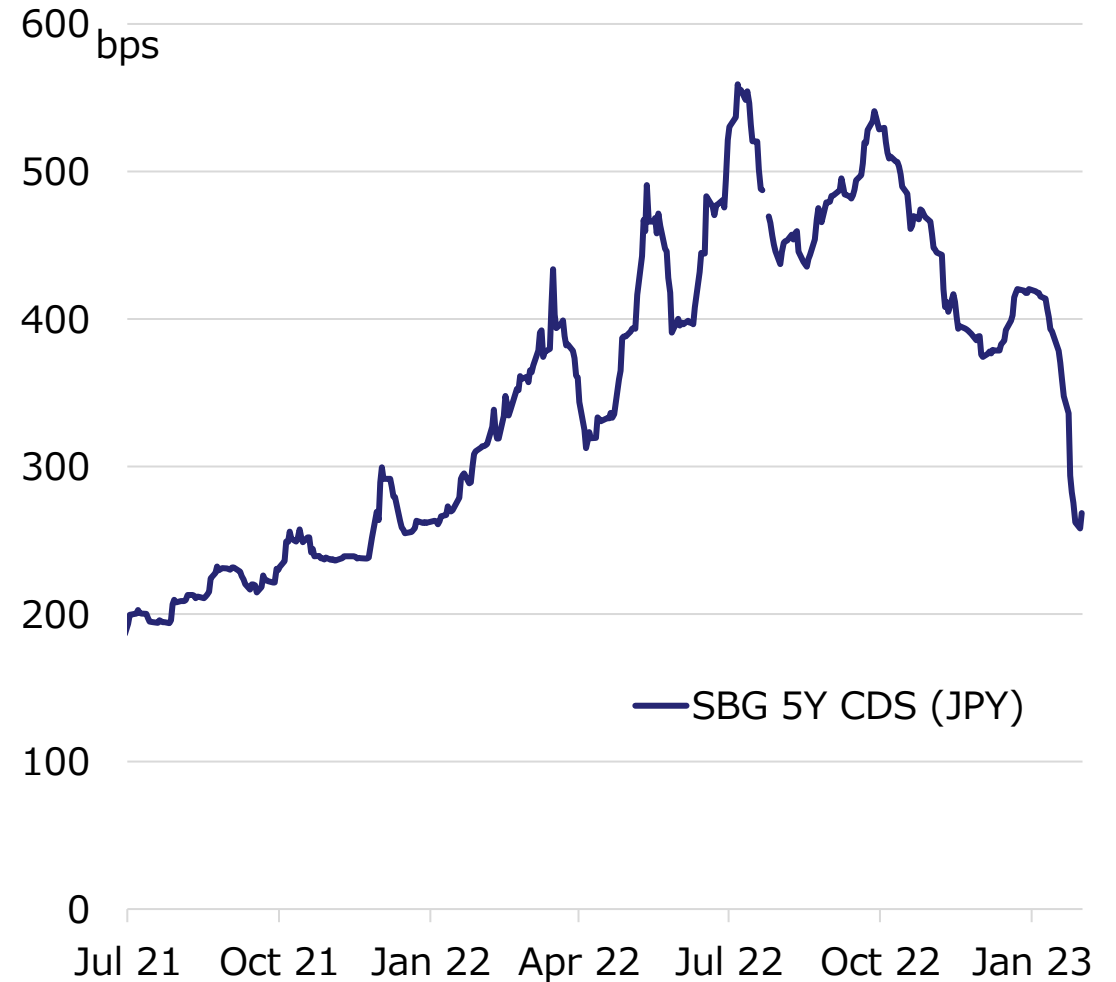
当社クレジットスプレッド

金利動向は沈静化。クレジットスプレッドは急速にタイト化

SBG シニア外債スプレッド



SBG 5年CDS

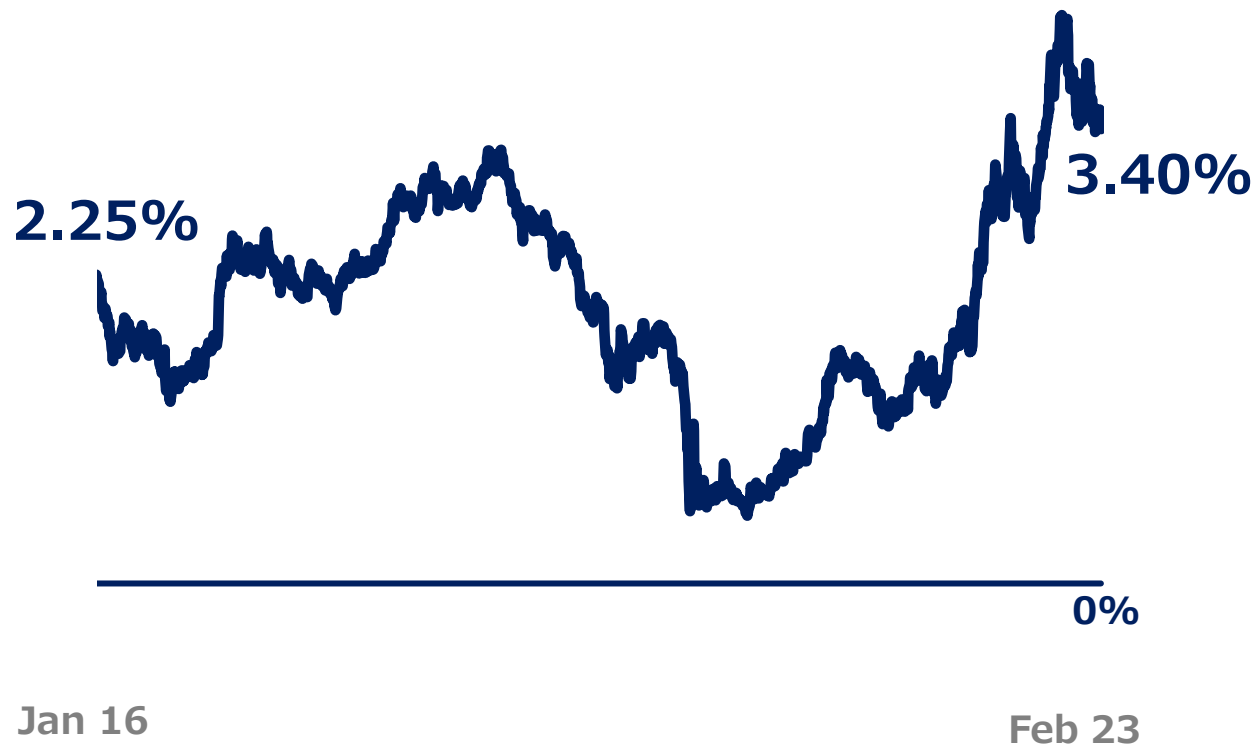


(注) 2023年2月2日時点。Bloombergを基に当社作成。2021年7月発行のシニア外債のZスプレッドを参照

日米金利の状況

グローバルな金融緩和の巻き戻しおよびその期待感により金利が上昇

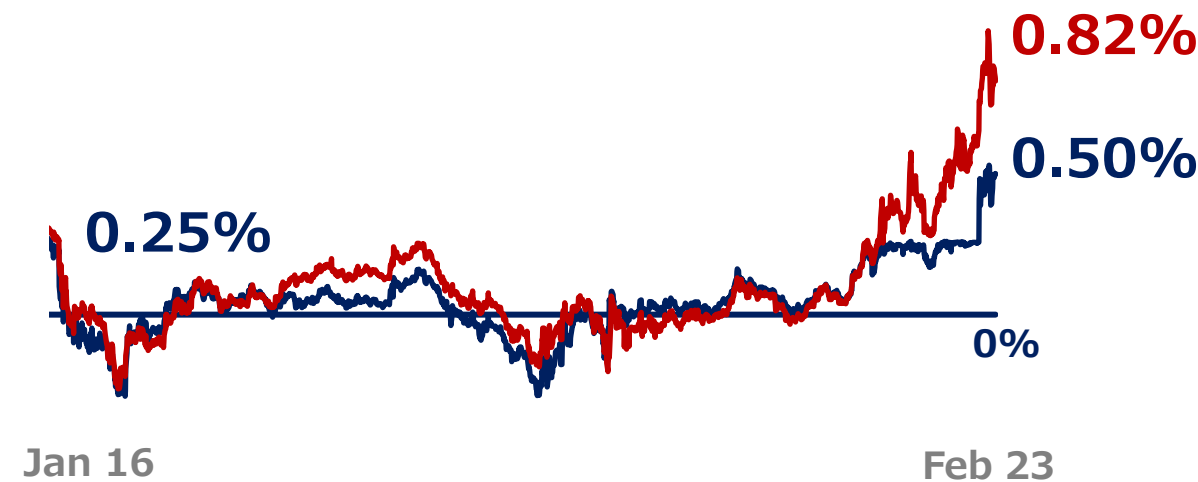
米国10年国債利回り推移



日本10年国債／スワップ金利利回り推移

10年国債

10年スワップ

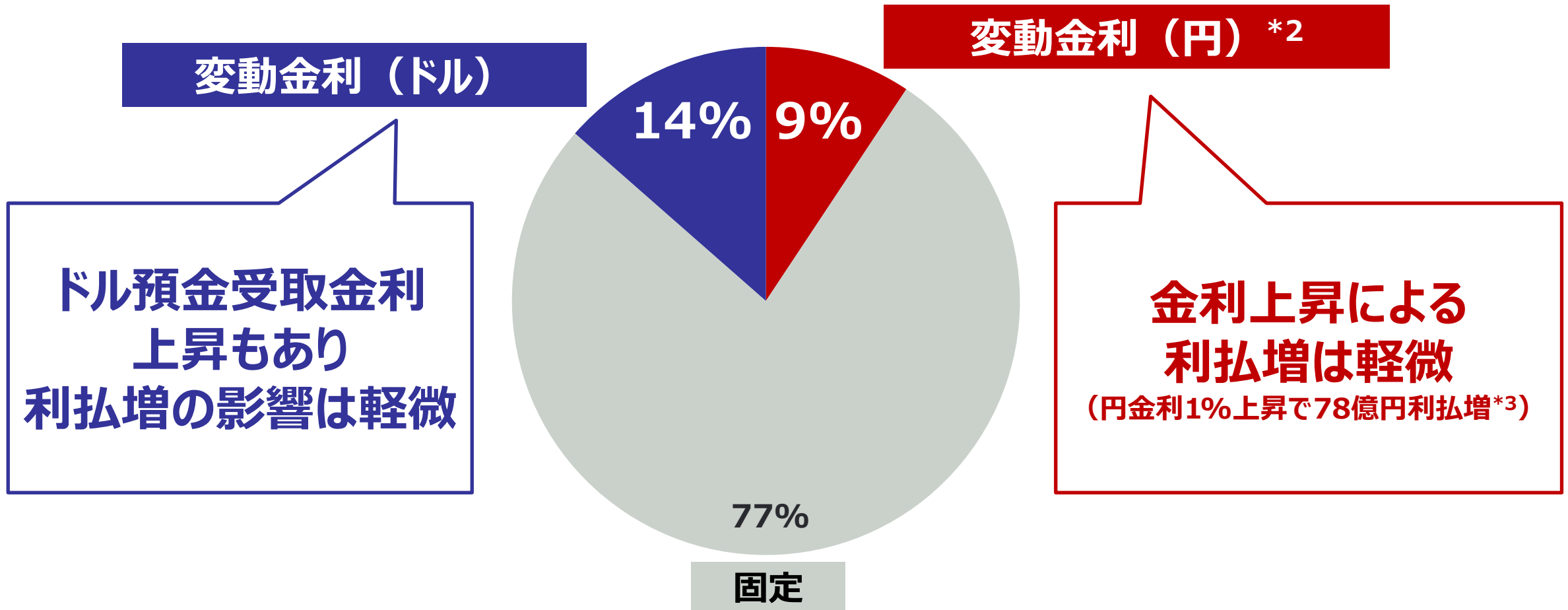


(注)

- 2023年2月2日時点
- 各時点における直近発行された国債利回りを参照

金利上昇が支払利息に与える影響

SBG単体有利子負債*1（株式先渡金融負債除く）に占める固定変動割合



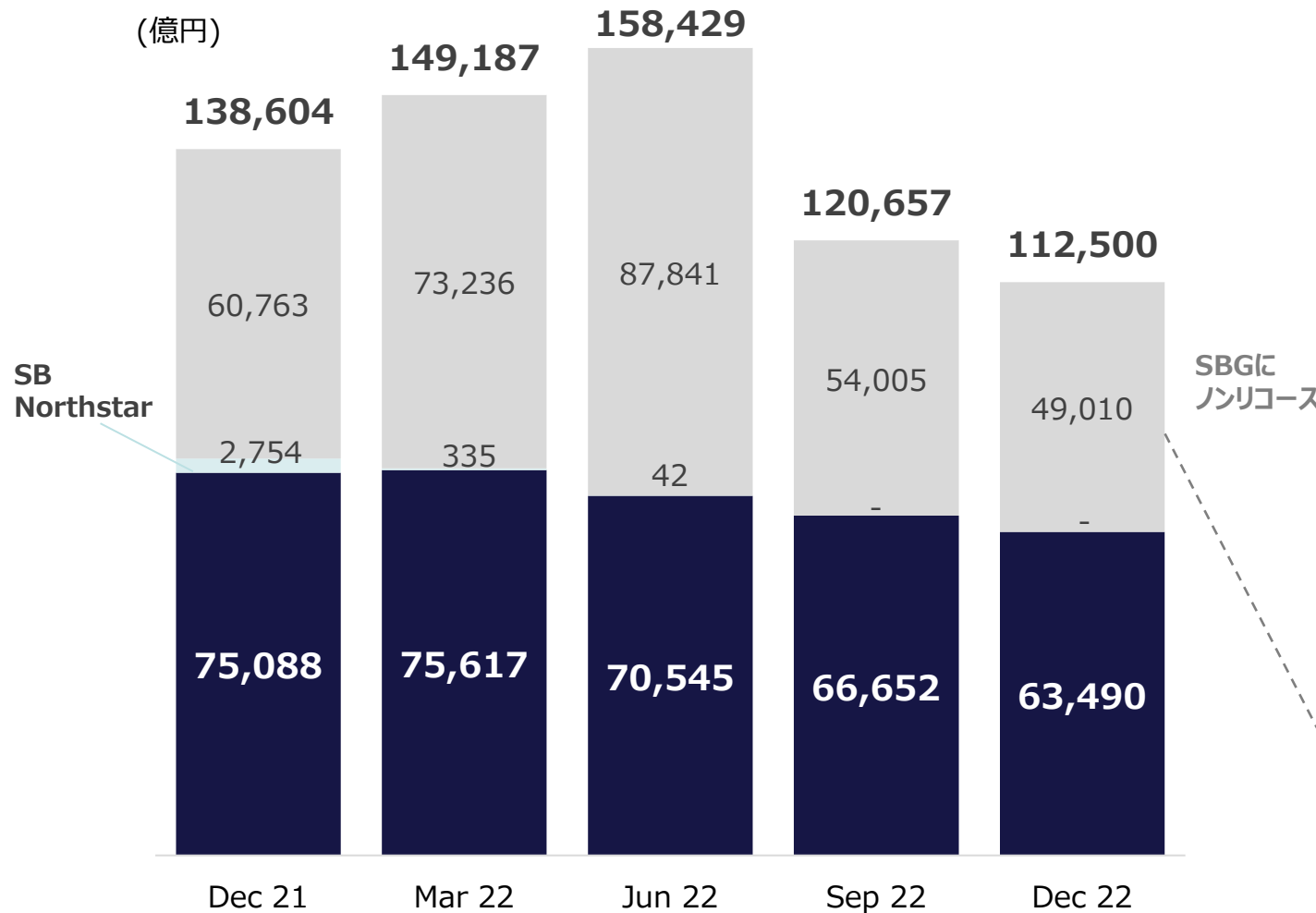
*1 2022年12月末時点のSBGおよび資金調達を行う子会社における有利子負債残高（含むML、除く株式先渡契約）

*2 含むCP残高

*3 円変動分にかかる直近12か月の利払増額（推計）

SBG単体 有利子負債*1

2022年3月期末対比、 ノンリコース分除く有利子負債を約1.2兆円削減



2022年9月末からの主な変動要因	
• 株式先渡し買契約の現物決済	-9,748億円 (アリババ)
• 株式先渡し買契約の締結	+\$6.1B (アリババ)
• 外債シニアバイバック	-\$1.5B
• 国内リテール債発行	+3,850億円
• 国内リテール債償還	-3,370億円

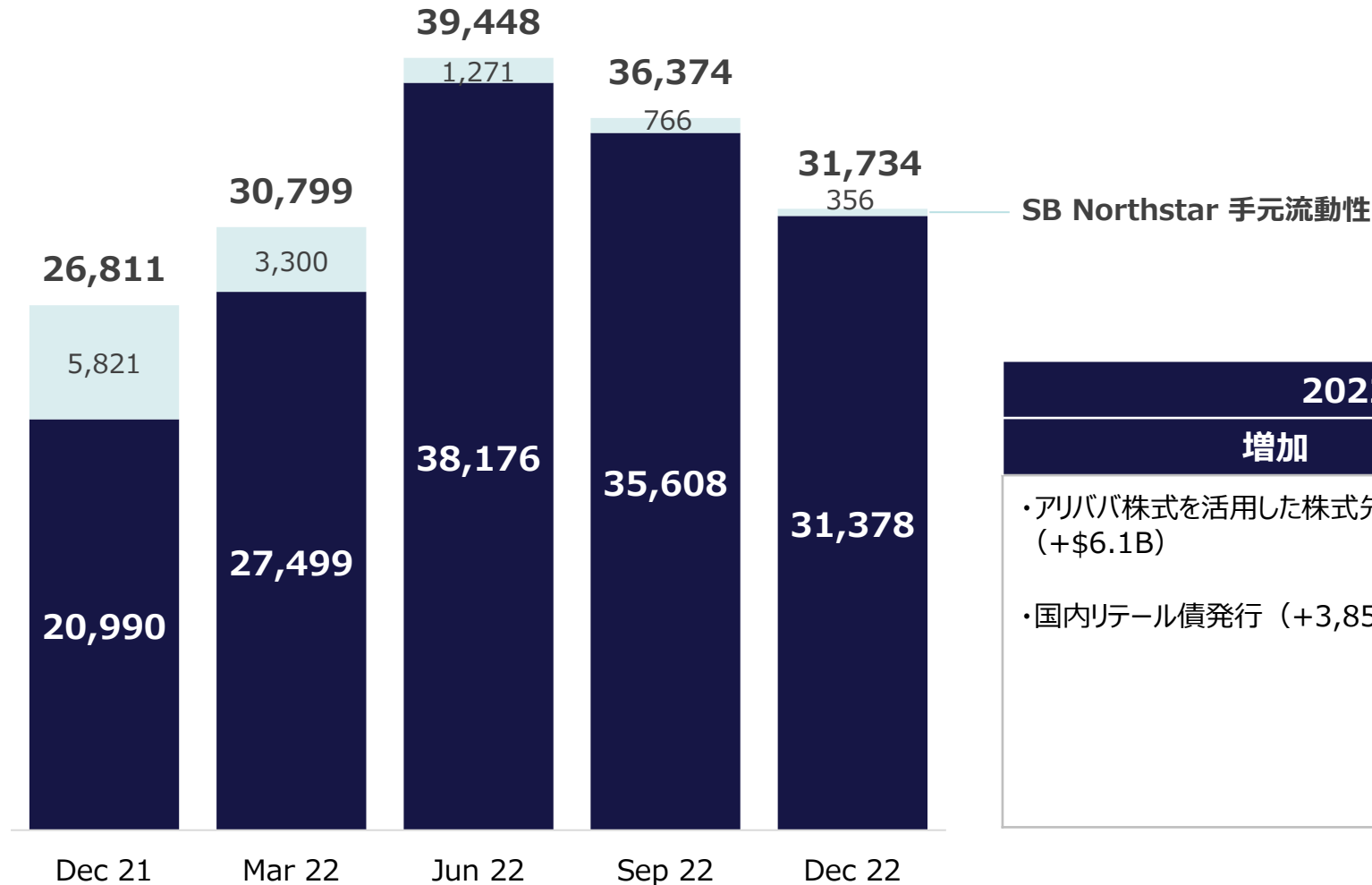
2022年12月末 内訳 (億円)		
SBG 借入金	対9月末	
銀行借入	2,854	-423
ハイブリッドローン	837	0
その他	-	-8
小計	3,690	-431
SBG 社債・CP		
国内シニア債	22,723	+442
国内劣後債/ハイブリッド債	16,259	+6
外債	18,230	-3,101
CP	1,930	-160
小計	59,142	-2,814
SBG リース負債		
	111	-3
子会社 有利子負債		
株式先渡し契約金融負債	28,516	-4,023
ドイツテレコム株式を活用したカラー取引	4,328	+12
ソフトバンク株式を活用したマージン・ローン	4,998	+4
アーム株式を活用したアセットバック・ファイナンス	11,169	-988
その他	547	+87
小計	49,557	-4,908
合計	112,500	-8,156

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計

SBG単体 手元流動性

負債削減を継続するも、潤沢な手元流動性を維持

(億円)



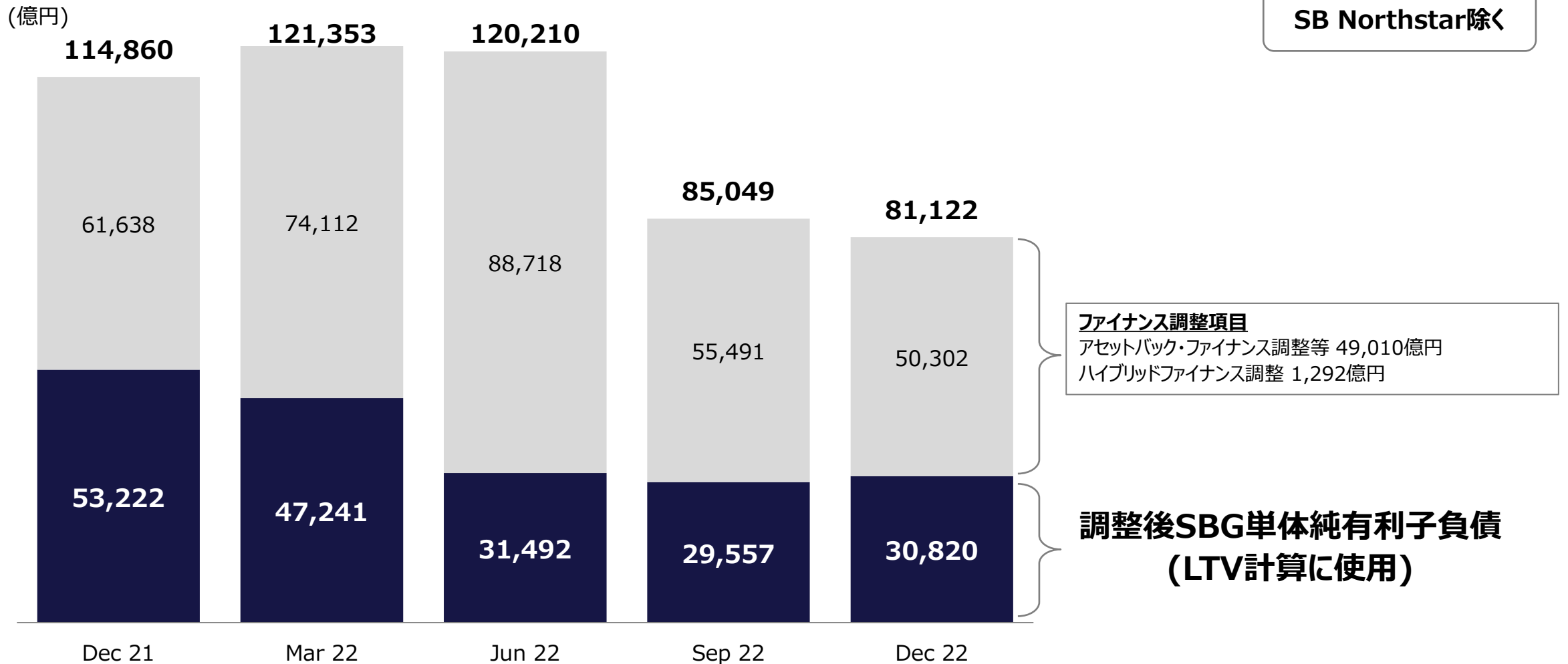
2022年9月末からの主な変動要因	
増加	減少
・アリババ株式を活用した株式先渡売買契約 (+\$6.1B)	・自社株買い (-5,323億円)
・国内リテール債発行 (+3,850億円)	・国内リテール債償還 (-3,370億円)
	・外債バイバック (-\$2.3B)
	・アリババ株式に関連する税金支払*1 (-2,018億円)

(注) 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資(資産運用子会社からの投資等)。SBG単体ベース

*1 2022年8-9月のアリババ株式先渡売買契約の早期現物決済に関連するデリバティブ利益の実現などにより課税所得が生じた100%子会社によるもの

SBG単体 純有利子負債

調整後純有利子負債を2022年3月期末対比、約1.6兆円削減



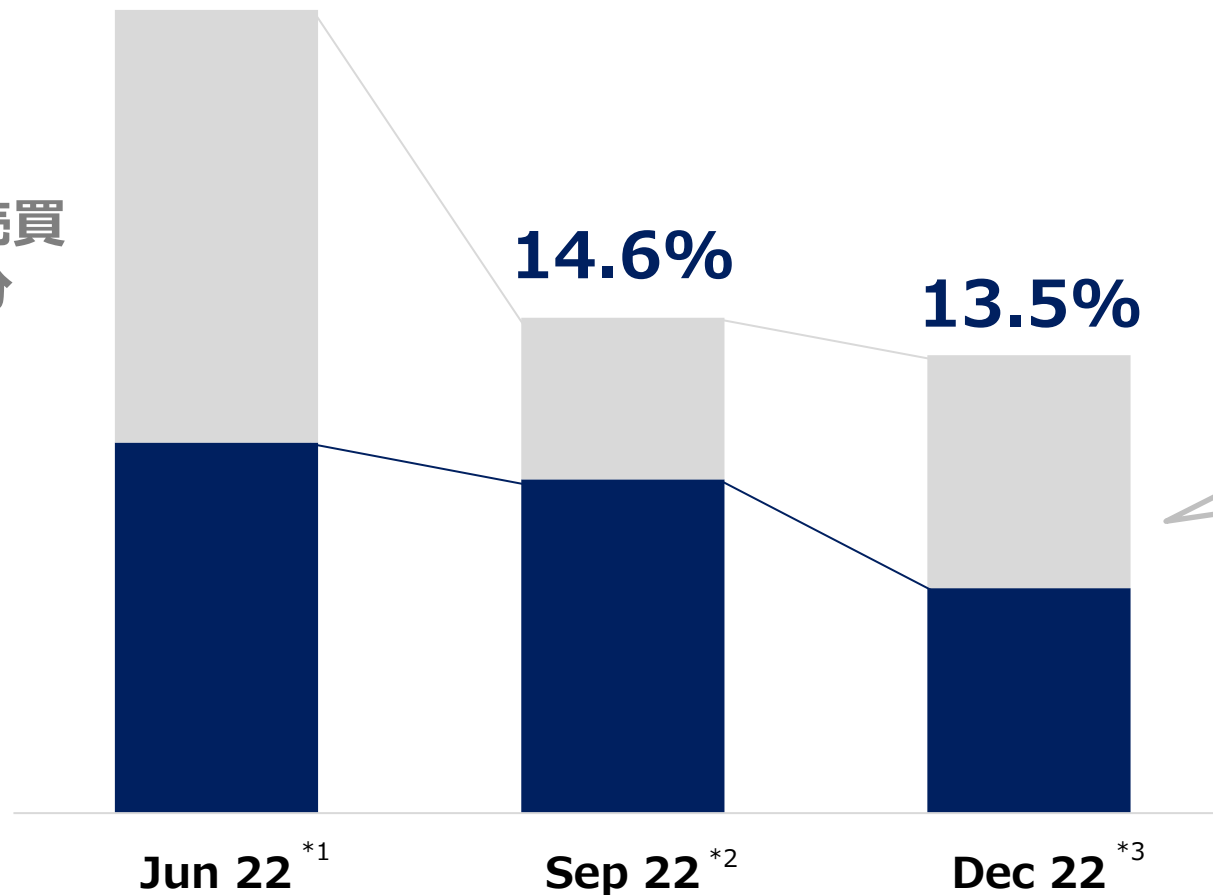
(注) 詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債」を参照

アリババ株式を活用したアセットバック・ファイナンス

株式先渡売買契約の現物決済後、実質保有割合が低下

実質保有割合 **23.7%**

株式先渡売買
契約使用分



Q3の資金化実績
・フォワード取引 合計\$6.1B

*1 AlibabaのForm 20-Fに記載された2022年3月31日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,357,323,112株に基づき算出

*2 同社のForm 20-Fに記載された2022年7月15日の発行済普通株式総数（自己株式を除く）21,185,107,544株に基づき算出

*3 2022年9月末の同社発行株式数（自己株式を除く）に基づき算出

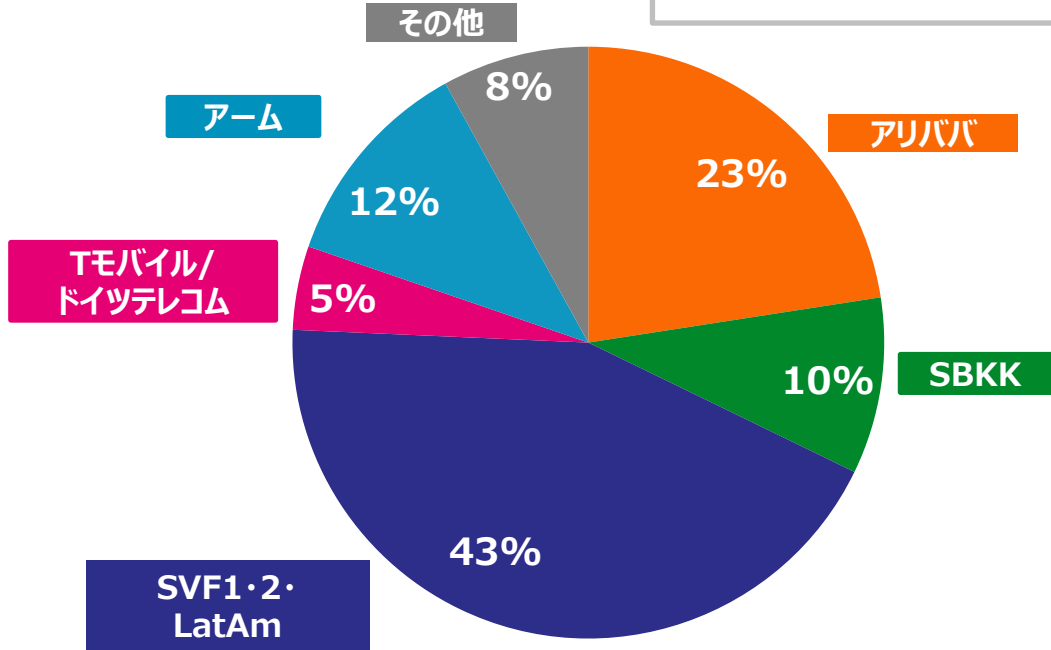
保有株式価値：ポートフォリオの分散

ポートフォリオの分散化を継続

アセットバック・ファイナンス除く

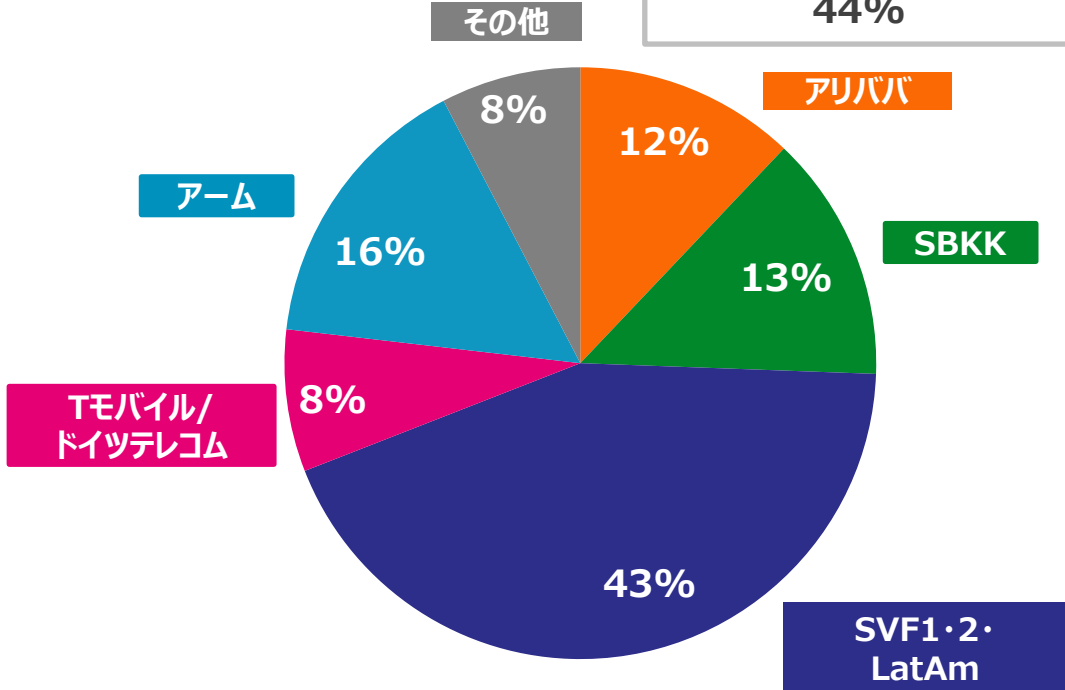
2022年3月末

上場株式*1の割合
(アセットバック・ファイナンス控除後)
52%



2022年12月末

上場株式*1の割合
(アセットバック・ファイナンス控除後)
44%



(注) 保有株式価値の12月末時点の詳細は、Appendix「2022年12月末：保有株式価値（算出方法）」、3月末時点の詳細は、2022年3月期決算投資家向け説明会プレゼンテーション資料 財務編Appendix「保有株式価値（算出方法）」を参照

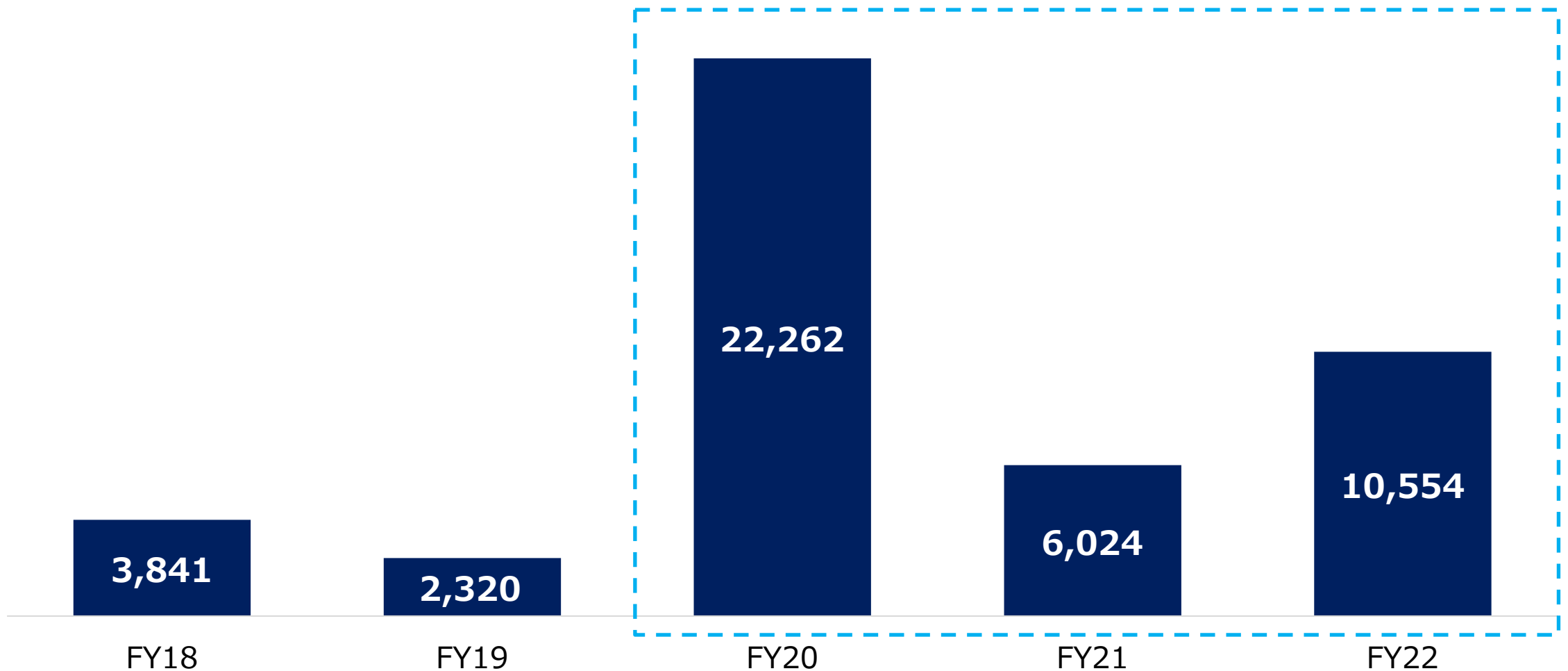
*1 保有株式価値（総額）に占める、上場株式の割合。アリババ、SVF1・SVF2・LatAmファンドが保有する上場株式、SBKK、TMobile、ドイツテレコム、およびその他のうちの上場株式を含む（ただし、SVF1、SVF2およびLatAmファンドはSBGの持分のみを含む）。(i) 2022年12月末時点のSBGの保有株式価値のうち上場株式価値の占める割合（アセットバック・ファイナンス控除後）と、(ii)アームの上場準備状況を踏まえた、2022年12月末時点のSBGのアーム保有株式価値（アセットバック・ファイナンス控除後）を合計すると60%。アームは既に上場準備の開始を発表しているが、上場の時期、上場後のアームの価値およびSBGのアーム保有株式価値については未定であり、これらについて何らの保証または示唆を与えるものではない。SBGのアーム保有株式価値の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①」を参照

自己株式取得額の推移

4.5兆円プログラム以降の3年間で累計約4兆円の自己株式を取得
本年度も1兆円以上の大規模な自己株取得を実施済み

(億円)

累計取得額約4兆円



①財務方針の堅持

②あらゆる変化に
対応できる
柔軟かつ機動的な
財務運営

1. 通常時 LTV25%未満 で運用 (異常時でも上限35%)

2. 少なくとも 2年分の社債償還資金 を保持

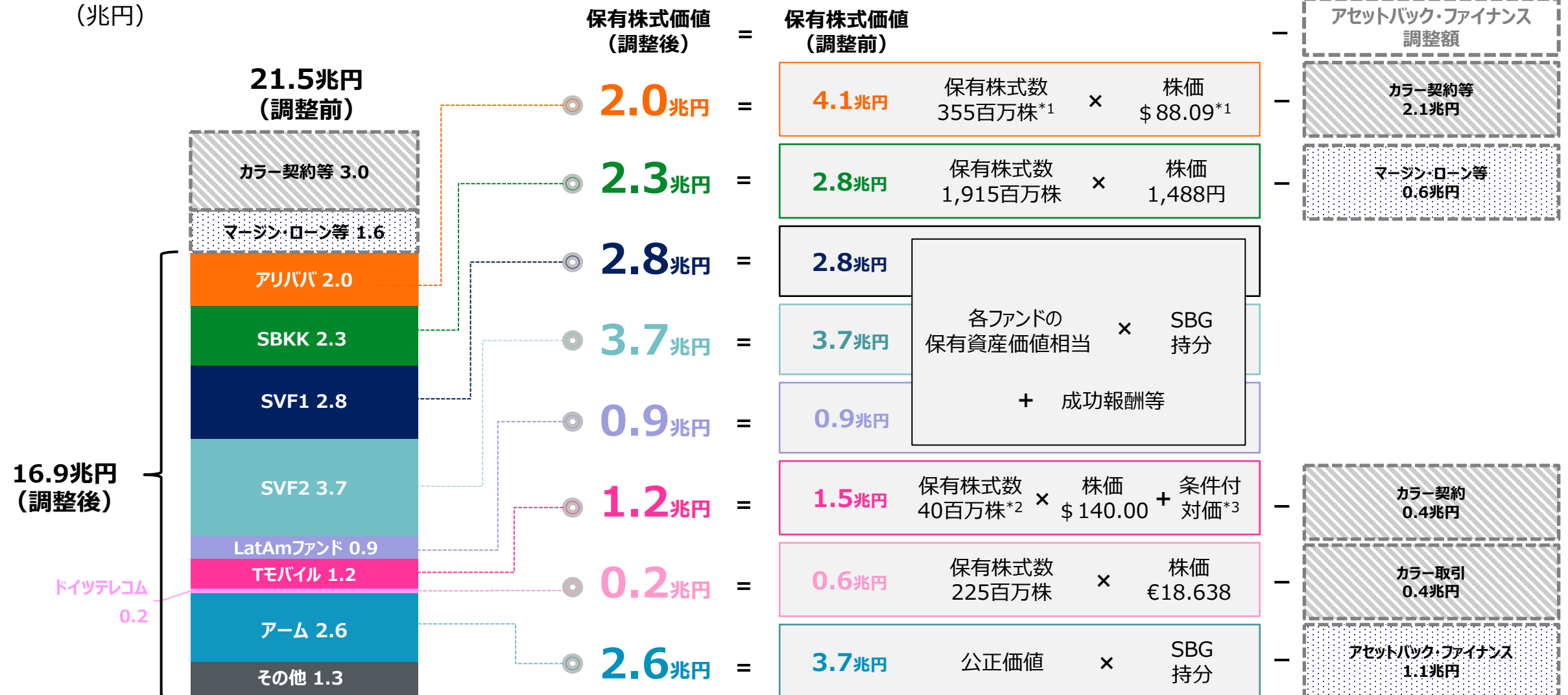
3. SVFや子会社から 継続的な配当収入 を確保

Appendix

2022年12月末：保有株式価値（算出方法）

1USD=132.70円

(兆円)



Dec 22

(注) 各計算式の詳細は、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」および「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

*1 SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数および同証券の株価 *2 ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数を含む。

*3 一定の条件下でTモバイル株式をSBGとその子会社が取得できる権利の公正価値

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値

(L) 調整後 SBG単体 純有利子負債

3.08兆円

= 18.2%

(V) 調整後
SBG単体 保有株式価値*1

16.93兆円



アリババ	+4.15	SBKK	+2.85	Tモバイル	+1.53	SVF1	+2.79
アセットバック・ファイナンス	-2.10	アセットバック・ファイナンス	-0.56	アセットバック・ファイナンス	-0.38	SVF2	+3.71
アリババ (調整後)	+2.05	SBKK (調整後)	+2.29	Tモバイル (調整後)	+1.15	LatAmファンド [〃]	+0.86
ドイツテレコム	+0.59	アーム	+3.75				
アセットバック・ファイナンス	-0.43	アセットバック・ファイナンス	-1.12				
ドイツテレコム(調整後)	+0.16	アーム (調整後)	+2.63				

(注) 2022年12月末時点

*1 調整後SBG単体保有株式価値の各アセット別の詳細については、Appendix「LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細①

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(a) アリババ	2.05	
調整前	4.15	SBGの保有株式数に相当する米国預託証券数×同証券の株価
アセットバック・ファイナンス調整	-2.10	複数の株式先渡し買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約・コールスプレッド）のうち、未決済分の満期決済金額（2022年12月30日の同社株価（米国預託証券）で算出）の合計額（2兆1,026億円）
(b) SBKK	2.29	
調整前	2.85	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.56	SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額等（5,629億円）
(c) SVF1	2.79	SVF1の保有資産価値相当に対するSBGの持分 + 成功報酬の見込み金額等
(d) SVF2	3.71	SVF2の保有資産価値相当に対するSBGの持分等
(e) LatAmファンド	0.86	LatAmファンドの保有資産価値相当に対するSBGの持分+成功報酬の見込み金額
(f) アーム	2.63	
調整前	3.75	SVF1において算出されたアームの全株式の公正価値に基づくSBG持分の公正価値（希薄化前の発行済株式に対するSBGの持分：75.01%）
アセットバック・ファイナンス調整	-1.12	SBGが保有する同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,169億円）

(注) 2022年12月末時点

LTVの算出：SBG単体 保有株式価値 詳細②

(兆円)

保有株式	金額	計算方法
(g) Tモバイル	1.15	
調整前	1.53	SBGの保有株式数（ドイツテレコムが保有する株式購入オプションの対象となる株式数（2022年12月末時点：34,971,809株）を含む）×同社株価 + 一定の条件下でTモバイル株式(48,751,557株)をSBGが無償で取得できる権利の公正価値 + Tモバイルによる現金強制転換証券を発行する信託へのTモバイル株式の売却取引に関連して受領した、一定の条件下でSBGの子会社がTモバイル株式を取得できる権利の公正価値
アセットバック・ファイナンス調整	-0.38	下記のアセットバック・ファイナンスの決済に必要な金額を控除 ・ドイツテレコムが保有する未行使の株式購入オプションに係るデリバティブ金融負債 ・Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）の満期決済金額（同社株価で算出）（3,797億円）
(h) ドイツテレコム	0.16	
調整前	0.59	SBGの保有株式数×同社株価
アセットバック・ファイナンス調整	-0.43	2021年10月に実行した同社株式を活用したカラー取引の満期決済金額（4,304億円）
(i) その他	1.29	上場株式：SBGの保有株式数×各上場株式の株価 非上場株式：SBGが保有する未上場株式等の公正価値（公正価値で測定していない株式等はSBGのBS上の簿価）に基づいて算出 SB Northstar（上場株投資）：SB NorthstarのNAVに対するSBGの持分 + SBGが保有するNVIDIA Corporation株式数×同社株価
SBG単体 調整後保有株式価値	16.93	財務編P27からの(a)～(i)までの合計額

(注) 2022年12月末時点

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債

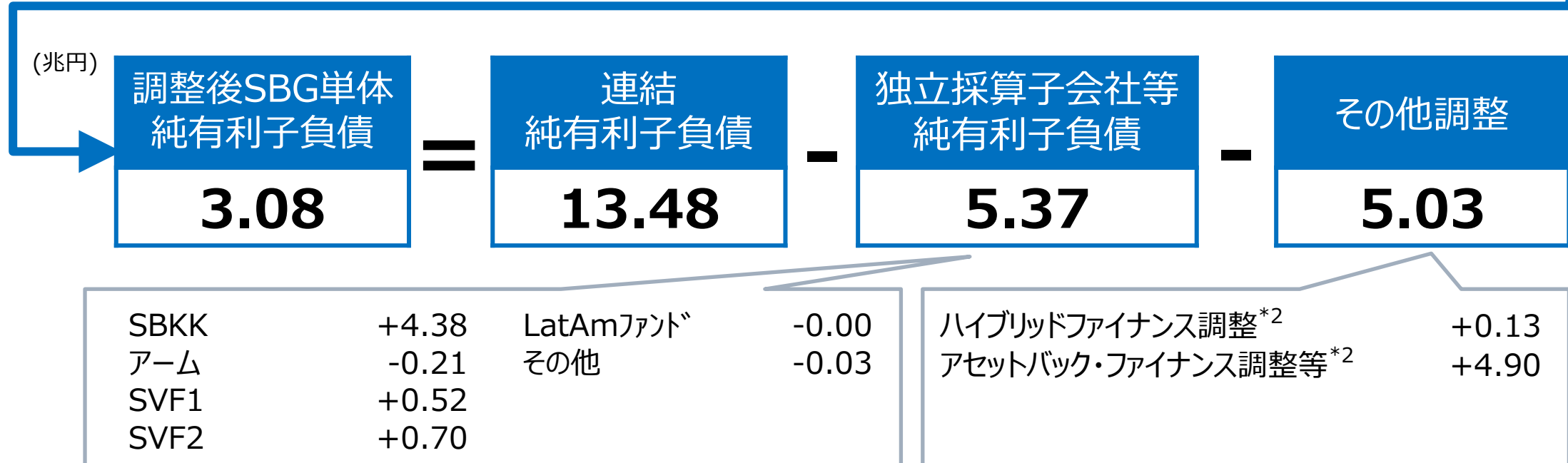
(L) 調整後
SBG単体 純有利子負債*1

3.08兆円

=18.2%

(V) 調整後SBG単体 保有株式価値

16.93兆円



(注) 2022年12月末時点

*1 各事業の純有利子負債はSBG連結外部に対する有利子負債のみ。PayPay銀行の「銀行業の預金－手元流動性」は含まない。

*2 詳細については、Appendix「LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細」を参照

LTVの算出：SBG単体 純有利子負債 詳細

(兆円)

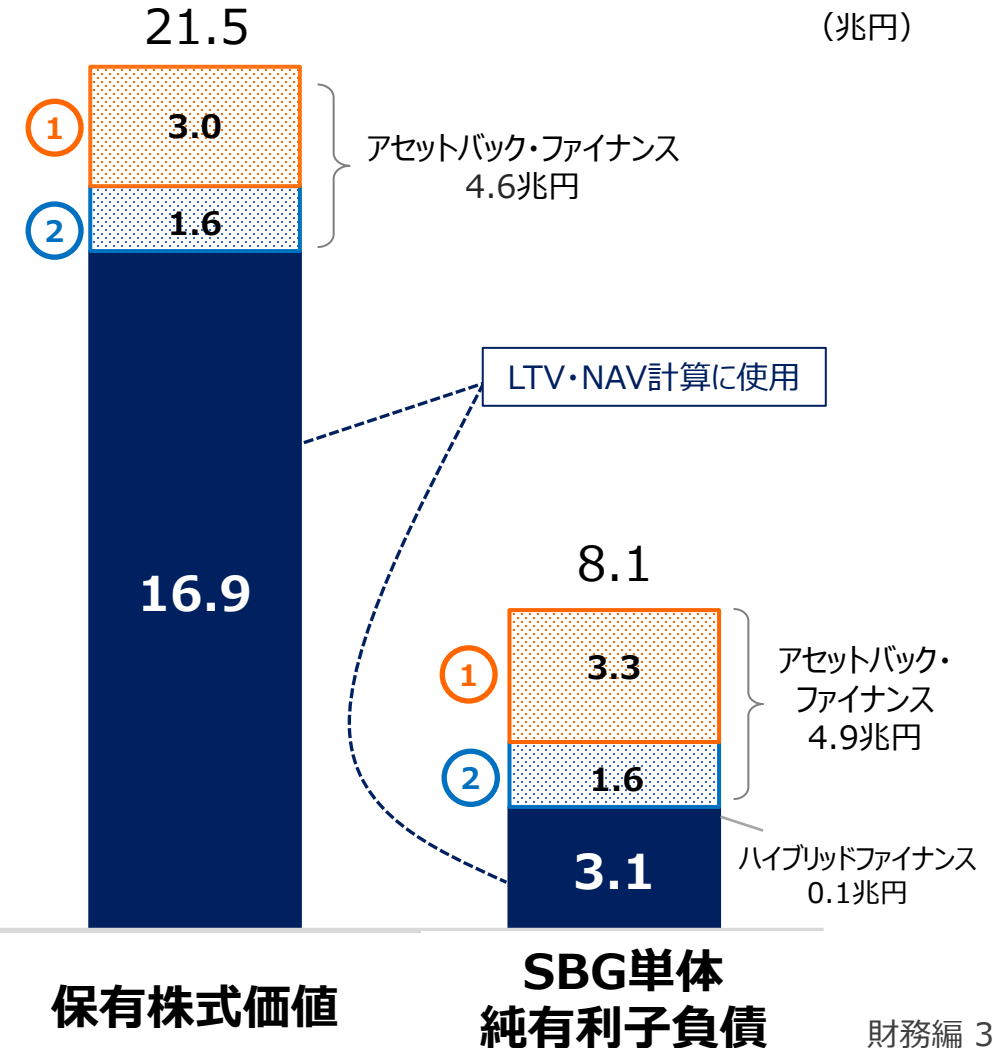
SBG単体 調整前純有利子負債		8.11	連結純有利子負債-独立採算子会社等の純有利子負債
ハイブリッドファイナンス調整	-0.13		・2017年7月発行のハイブリッド債は、連結会計上、全額が資本計上されているため50%を有利子負債に算入 ・2016年9月・2021年2月・2021年6月発行のハイブリッド債および17年11月実行のハイブリッドローンは、連結会計上、全額が負債計上されているため50%を有利子負債から控除
アセットバック・ファイナンス調整等	-4.90		
アリババ	-2.42		アリババ株式を活用した複数の株式先渡売買契約（フロア契約・カラー契約・フォワード契約）に係る株式先渡契約金融負債（2兆4,152億円）
アーム	-1.12		同社株式を活用したアセットバック・ファイナンスによる借入の負債残高相当額（1兆1,169億円）
Tモバイル	-0.37		Tモバイル株式を活用した株式先渡売買契約（カラー契約）に係る株式先渡契約金融負債（3,727億円）
ドイツテレコム	-0.43		2021年10月に実行したドイツテレコム株式を活用したカラー取引に係る負債残高相当額（4,328億円）
SBKK	-0.56		SBKK株式を活用したマージン・ローン負債残高相当額等（5,635億円）
SBG単体 調整後純有利子負債		3.08	

(注) 2022年12月末時点

LTV・NAV計算におけるアセットバック・ファイナンス調整

ノンリコースのアセットバック・ファイナンスはデットから控除
同時に、決済に必要となるアセット価値をアセットから控除

	① フォワード／カラー／プット	② マージン・ローン等
主な対象株式	アリババ	SBKK／アーム
内容	株式先渡契約* ¹ に基づく資金調達 (SBGにノンリコース)	株式を担保に借入を行う資金調達 (SBGにノンリコース)
デット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変 	<ul style="list-style-type: none"> ・バランスシート計上金額 ・株価に関係なく不変
アセット控除額	<ul style="list-style-type: none"> ・期末株価を基に算出した満期決済金額の想定額 ・株価水準によって変動 	返済に必要なアセット相当額 (バランスシート上のデット計上額)
株価下落の影響	<ul style="list-style-type: none"> ・フロア価格を下回る株価では受渡金額が減少 ・追加担保等や期限前返済は不要 	<ul style="list-style-type: none"> ・一定の株価水準を下回る場合、追加担保や期限前返済が必要 ・返済金額は不変

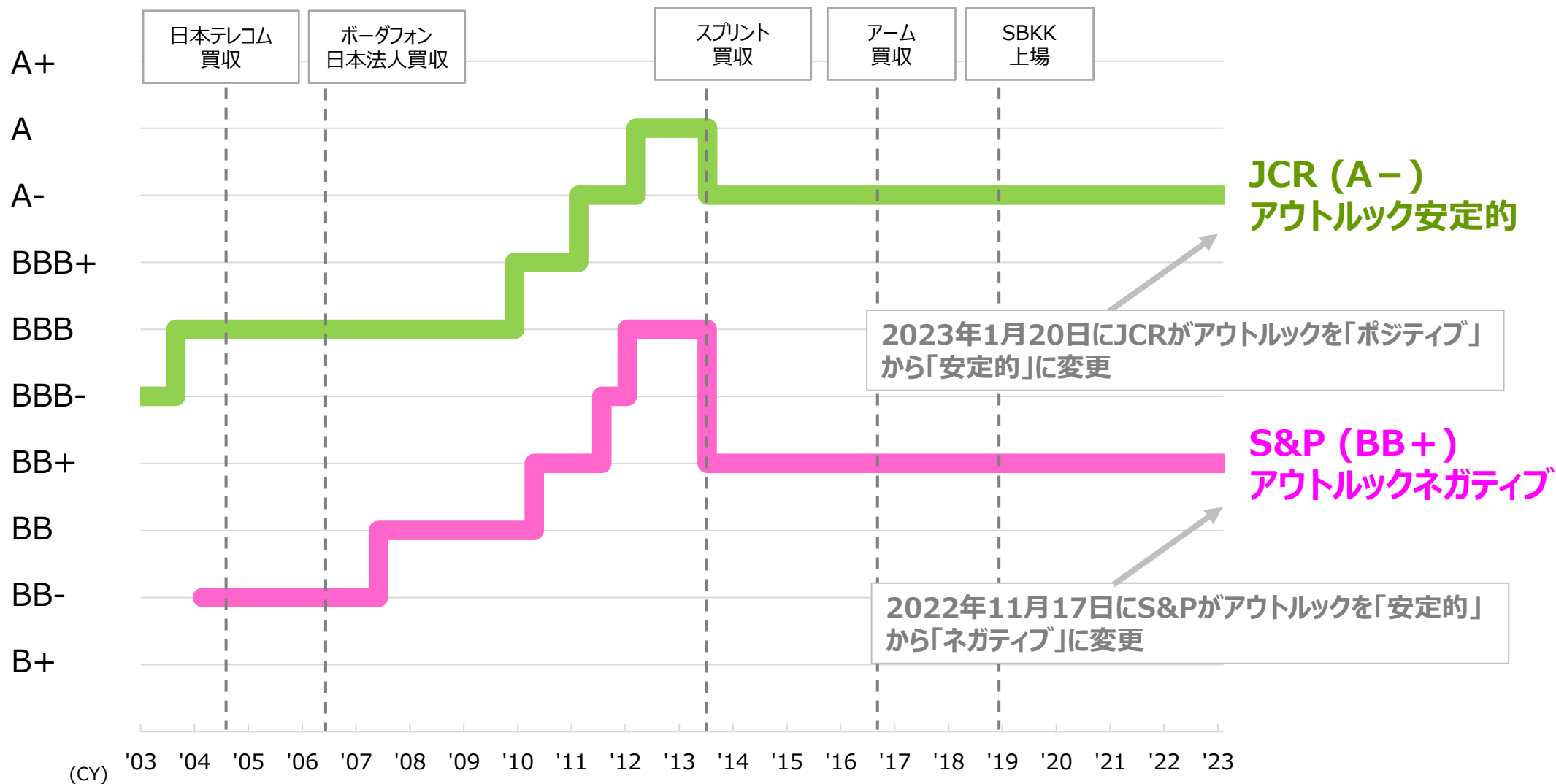


(注) 2022年12月末時点
*1 あらかじめ合意された価格 (フォワード) または価格レンジ (カラー・プット) で満期に対象株式を売買する契約を締結する。

(参考) フォワード取引、カラー取引

<p>目的</p>	<p>デリバティブを活用したノンリコースの資金調達</p>
<p>概要</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 将来時点で、当初合意した価格もしくはレンジで決済する取引 • 株式担保とそれを参照するデリバティブを見合いに資金調達 • 原則、満期において現金と株式による決済のいずれも選択可 • 株価下落で満期時の決済金額が減少、株価上昇で増加する
<p>フォワード取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した先渡価格で決済 • 決済価格は、担保株式の株価変動にかかわらず固定。よって将来の株価上昇によるアップサイドは享受できない
<p>カラー取引</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 担保株式を、あらかじめ合意した価格レンジで決済 • 株価下落時でも、価格レンジ下限で決済可。他方、株価上昇によるアップサイドは価格レンジ上限に限定

SBGの格付推移



(注) 2023年2月7日時点

連結：有利子負債、手元流動性、純有利子負債

連結有利子負債*1

(単位:億円)

	Dec 21	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
SBG単体	138,604	149,187	158,429	120,657	112,500
うち、SB Northstar	2,754	335	42	-	-
SVF1&2、LatAmファンド	12,086	10,773	14,134	14,811	13,199
ソフトバンク事業	61,680	59,994	62,202	61,350	62,096
その他（アーム等）	3,370	3,282	3,744	1,782	1,652
合計	215,739	223,236	238,509	198,600	189,448

連結手元流動性*2

(単位:億円)

	Dec 21	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
SBG単体	26,811	30,799	39,448	36,374	31,734
うち、SB Northstar	5,821	3,300	1,271	766	356
SVF1&2、LatAmファンド	2,511	2,003	733	502	1,026
ソフトバンク事業	12,834	12,219	12,488	13,925	18,254
その他（アーム等）	6,101	7,208	6,671	6,478	3,661
合計	48,256	52,229	59,341	57,279	54,675

連結純有利子負債*3

(単位:億円)

	Dec 21	Mar 22	Jun 22	Sep 22	Dec 22
SBG単体	111,793	118,388	118,981	84,283	80,766
うち、SB Northstar	-3,067	-2,965	-1,229	-766	-356
SVF1&2、LatAmファンド	9,575	8,770	13,401	14,310	12,174
ソフトバンク事業	48,846	47,775	49,713	47,425	43,842
その他（アーム等）	-2,730	-3,927	-2,927	-4,696	-2,009
合計	167,483	171,006	179,168	141,321	134,773

*1 SBG連結外部に対する有利子負債およびリース負債の合計。PayPay銀行の銀行業の預金は含まない。

*2 手元流動性 = 現金及び現金同等物 + 流動資産に含まれる短期投資。PayPay銀行の手元流動性は含まない。

*3 PayPay銀行の「銀行業の預金 - 手元流動性」は含まない。マイナス表記はネットキャッシュ